

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DO)	事務事業名	No. 680302	親子通園事業				主管課名	子育て支援			
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	増岡 総一郎			
		施策	安心して子どもを産み、育てられるまち								
		基本事業	子育て支援サービスの充実								
	(1)事業の概要										
	保健センターとの連携により、発達に心配のある概ね1歳から3歳までの就園前の乳幼児を対象に親子で通園し、遊びを通して日常生活の指導や親子関係を育て、子どもの心身の発達を促すとともに親土の交流を深める。 【実施施設】 【実施形態】 【実施形態】 通年利用：定員60名の2歳児週2回、1歳児週1回 短期コース利用：定員10名の1クール10回、年間3グループに分け実施						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)				
							名 称		単 位		
							教室参加者数		人		
							療育研修(勉強会)の開催回数		回		
							発達心理相談実施回数		回		
						その指標					
(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		教室の実施 勉強会の開催 就園相談									
26年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容	通園施設の拡大予定及び27年度新事業開始予定								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
1歳から未就園児の精神発達に問題があると思われる概ね3歳までの児と保護者						名 称		単 位			
						1歳6ヶ月児健診の精神発達要観察児数		人			
						3歳児健診の精神発達要観察児数		人			
						その指標					
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
療育活動の場に親子で積極的に参加できる 就園に向けて相談できる						名 称		単 位			
						教室の開催回数		回			
						通園事業参加児数		人			
						就園相談を受けた件数		件			
						その指標					
(4)結果(上位基本事業の意図)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
安心して子育てしてもらおう						名 称		単 位			
						子育て支援の相談件数		件			
						ファミリーサポートセンター援助活動の回数		回			
						その指標					
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
(5)の 活動指標		人	81	87	87	87	87	87	87		
		回	14	8	8	8	8	8	8		
		回	80	89	89	89	89	89	89		
(6)の 対象指標		人	243	218	218	218	218	218	218		
		人	89	118	118	118	118	118	118		
(7)の 成果指標		回	184	190	190	190	190	190	190		
		人	81	87	87	87	87	87	87		
		件	21	15	15	15	15	15	15		
(8)の結果の 成果指標		件	1,417	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234	1,234		
		回	1,969	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986	1,986		
(10)予算費目											
会計		01 一般会計				款	03	項	02	目	01
(11)コスト											
事業費(決算又は予算額)		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	その他	千円	65	69	88	0	0	0	0		
	一般財源	千円	5,526	5,227	7,621	0	0	0	0		
	人件費B	千円	5,069	223	223	223	223	223	4,613		
正職員従事時間×人数		時間×人	90×2	30×2	30×2	30×2	30×2	30×2	30×2		
正職員以外の人件費		千円	4,390						4,390		
その他費用C		千円	93								
トータルコストA+B+C		千円	10,753	5,519	7,932	223	223		4,613		
単位あたりコスト		千円/人	44	25	36	1	1		21		
(トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/人	121	47	67	2	2		39		

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 680302 親子通園事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成17年8月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 豊田市子ども発達センターの母子通園を利用していたが、対象者の増加、拠点施設の必要性が高まり開所した。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員の不足 ・健診により早期発見・早期治療を勧めることにより対象児及び利用児の増加が予想される。
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している 変化している → 定員より多い親子が通園している。	

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 児童育成計画 この事務を行う根拠又は理由	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	親子通園退所後も継続的な療育指導・支援を必要とする人
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	親子通園退所し、就園後も安定した支援療育相談・支援体制をつくる。
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	保育園の空き教室を有効に利用し教室を実施しているため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	削減	事業費の方向性	減額	成果の方向性	低下
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等 の見直しなど	・早期療育・対象者の増加により、子育て支援を図るための拠点が 必要。					